



クリーンアップ。 ひぬま Vol.37 2018.3 ネットワークだより

<http://www.hinuma-network.jp>

第17回ひぬま環境フォーラムを開催しました

平成29年11月26日(日)、いこいの村湖沼において、「第17回ひぬま環境フォーラム」を開催しました。

【第1部】では、平成29年度湖沼水質浄化ポスター、第11回ひぬまフォトコンテスト、平成29年度水質浄化活動功労者の表彰式を行いました。

水質浄化ポスターは応募総数358点の中から描写力、表現力に優れ、意欲に溢れた作品を選定し、24名(最優秀賞3名、優秀賞6名、優良賞15名)に表彰状が授与されました。ひぬまフォトコンテストは応募総数84点の中から、11名(最優秀賞1名、優秀賞2名、優良賞5名、奨励賞1名、ニコン賞1名、第17回世界湖沼会議開催記念いこいの村湖沼賞1名)に表彰状が授与されました。

また、長きにわたり水質浄化活動に熱心に取り組まれ、多くの功績のあった3団体に対し、水質浄化活動功労者の表彰状が授与されました。

受賞者の皆様おめでとうございます。

今後ますますご活躍されますことを期待しております。



会長あいさつ



表彰式

平成29年度 湖沼水質浄化ポスター ～最優秀賞～

☆ 各部門の入賞作品は、クリーンアップひぬまネットワークホームページからご覧いただけます。



茨城町立青葉小学校
三年 川上 姫愛さん



茨城町立大戸小学校
五年 川上 洸大さん



茨城町立明光中学校
三年 石田 彩華さん

第11回 ひぬまフォトコンテスト



最優秀賞
「群翔」金沢 清治様



ニコン賞
「遊泳アート」竹内 治様



第17回世界湖沼会議
開催記念いこいの村湖沼賞
「水む頃」深作 正一様

ひぬま環境フォーラム講演会



水質浄化啓発講演会① 茨城町立葵小学校 5年生児童



水質浄化啓発講演会② ラムサールセンター事務局長 中村 玲子 様

第17回ひぬま環境フォーラムの【第2部】水質浄化啓発講演会では、茨城町立葵小学校の5年生児童の皆さん(佐藤 花野さん・遠西 大雅さん・木内 誉さん・今野 理寧さん)から「涸沼浄化推進小学校連絡会議による活動発表」と題して、涸沼に関する学習や活動内容を発表していただきました。茨城町職員からラムサール条約などについて出前授業を受けたり、県霞ヶ浦環境科学センターの指導を受けながら水質や動植物を観察する環境学習「涸沼川探検」を行っていること、その他にも涸沼の水質検査・ゴミ拾いなどの活動についての紹介がありました。

次に、ラムサールセンター事務局長の中村 玲子 様から『地域の参加と活性化に生かす「KODOMOラムサール」の力』と題してご講演いただきました。「KODOMOラムサール」は、湿地の価値と賢明な利用を子ども自身が考え、実践する環境教育として開発された環境教育プログラムで、これまでに87湿地(インド、タイ、マレーシア、中国、韓国、ロシア、日本)から3700人の子ども達が参加しています。参加した子ども達はラムサール条約登録湿地に宿泊しながら、自分の湿地とそこでの活動についての紹介、開催地とその周辺環境を巡るフィールド学習、グループディスカッションなどを行います。子ども達にとっての大きな学びの場となるだけでなく、大人にとっても地域の価値を見直すきっかけとなっているそうです。「涸沼も開催地に」と呼びかけていただきました。

平成29年度水質浄化活動功労者の紹介

茨城県立茨城東高等学校(茨城町)

(敬称略)

創立40周年(昭和53年創立)を迎えた茨城町にある県立の高等学校。平成23年度に自然環境の保全に取り組むキャリア教育をスタート。平成27年度に自ら実践できる環境保全活動を行うため、『We are 涸沼っ子!』を立ち上げ、1年次は涸沼の水質調査や生態系保全、2年次は間伐材でMY箸づくり、3年次は学校保有林の整備を行っています。



功労者の皆様

前列左: 笠間市岩間環境美化推進協議会
前列中央: 茨城県立茨城東高等学校
前列右: 株式会社ニコン 水戸製作所

笠間市岩間環境美化推進協議会(笠間市)

不法投棄の監視および対策を目的に、昭和57年に、『岩間町環境美化推進協議会』として発足し、平成18年、市町村合併により『笠間市岩間環境美化推進協議会』の名称となる。不法投棄の監視および対策のほか、道路や河川等のクリーン作戦(年3回)などの環境美化活動や、市民参加での環境関係施設等への視察研修などの活動を行っています。

株式会社ニコン 水戸製作所(水戸市)

創立100周年(1917年創立)を迎えた光学機械器具の製造、ならびに販売を行う企業。事業を展開するすべての国と地域において、「環境」、「教育」、「社会福祉」、「文化・芸術」、「災害復興支援」の5分野で社会貢献活動に取り組んでいます。茨城県では水戸市に水戸製作所を構え、ひぬまフォトコンテストにおいて当初より審査協力やニコン賞を提供しているほか、ひぬま流域クリーン作戦等には多くの社員が参加しています。

Q 1. 茨城県では過去にも世界湖沼会議が開催されていますが、何年に開催されているでしょう? A 1. 1995年(平成7年)

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)情報

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)の成功に向けて、平成29年10月16日(月)に「第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)開催1年前記念カウンタダウンボード除幕式」が開催されました。茨城県知事、茨城県議会議員、共催6市町長等(土浦市、つくば市、かすみがうら市、鉾田市、茨城町、水戸市)によるカウンタダウンボードの除幕のほか、海外からの留学生によるスピーチ、亀城太鼓の演奏が行われました。現在、カウンタダウンボードは茨城県庁舎2階県民ホールに展示中です。



カウンタダウンボード除幕式



第2回開催案内書

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)について、詳細なプログラムが記載された第2回開催案内書が平成30年2月に発行されました。メイン会場はつくば国際会議場ですが、涸沼流域の鉾田市、茨城町、水戸市で関連行事が行われるほか、10月17日(水)のエクスカージョン「北浦・涸沼・千波湖コース」では、いこいの村涸沼を会場として涸沼のラムサール条約に関連した取組の紹介や、涸沼自然公園の視察等が行われます。この案内書は市町村環境担当課で配布されるとともに公式ホームページに掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

茨城県 世界湖沼会議

茨城町立葵小学校の取り組み

茨城町立葵小学校は、開校2年目となる学校です。学区の南側に涸沼があり、児童や地域の人たちにとって、涸沼は身近な存在であり生活の場所でもあります。

4年生は、総合的な学習の時間に「みんなで守ろう茨城町のシンボル涸沼!」をテーマに環境について考える学習を行っています。涸沼についての調べ学習や水質検査を行うほか、今年度は全校で涸沼浄化活動としてクリーン作戦を行いました。児童の取り組みに賛同して、地域のライオンズクラブの方々も多数参加してくださいました。湖畔には水鳥が多く生息していることがわかりました。しかし一方でレジヤを楽しんだと思われる紙くずや弁当の容器、空き缶など多くのごみがあることにも気づき、児童はこれからは涸沼に水鳥が見られるよう自然を大切にしたいという思いを強くもちました。



涸沼浄化活動



せせらぎづくり

また、地域のNPOの方々を中心に「蛍の里」をつくる計画があることを聞き、その活動の一環であるせせらぎづくりに参加させていただきました。今後は、蛍のえさになるカワニナについて学習したり、春には川底に生える藻を育てたりしていく予定です。今年度をスタートラインとして、地域の方々とともに蛍が見られる里づくりに協力して、環境について地域の方とともに学習していきたいです。

第12回 ひぬまフォトコンテスト作品募集のお知らせ

クリーンアップひぬまネットワークでは、自然に親しみ、水質浄化や自然保護に対する意識を高めることを目的に、涸沼流域の自然や日常の風景などを題材とした写真作品を募集しております。涸沼流域の自然や人々の暮らし等、あなたが未来に残したい涸沼の風景を、写真を通して表現してみませんか。今年度は新たに「いこいの村涸沼賞」を創設しました。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 作品のテーマは、涸沼流域の ①自然風景、②動植物、③人々の暮らし等です。
- 作品は、カラー4切、ワイド4切、A4サイズとします。(※インクジェットによるプリント可)(なお、高校生以下は、2Lサイズからの応募が可能です。)
- 応募は、1人10点以内とします。(各作品の裏面に応募用紙を貼付願います。)
- 最優秀賞1点、優秀賞2点以内、優良賞5点以内、奨励賞2点以内、ニコン賞1点、いこいの村涸沼賞1点を決定し、表彰する予定です。(表彰式は、平成30年11月に行う予定です。)

※応募の詳細及び応募用紙については、ホームページ(<http://www.hinuma-network.jp>)をご覧ください。

応募締切
平成30年
9月28日(金)
※当日消印有効

Q 2. 涸沼流域に入る市町は、茨城町・大洗町・鉾田市・水戸市・笠間市、あと1つは? A 2. 城里町

賛助金のご協力ありがとうございました

ネットワーク活動の充実を図るため、事業所及び団体会員の皆様に賛助金（1口：1万円）のご協力をお願いしましたところ、34事業所・団体及び個人1名様から合計40万円のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

今回ご協力いただきました賛助金は、啓発物品（エコバック、ボールペン、ひぬまマップ（涸沼流域を紹介するパンフレット））の作成に充てさせていただきました。

厚く御礼申し上げます。

今後も涸沼の水質浄化活動を実践してまいりますので、引き続きご理解、ご協力をお願い申し上げます。

- 一般財団法人茨城県環境保全事業団
- 水戸農業協同組合
- 株式会社ニコン 水戸製作所
- 株式会社山新
- 株式会社常陽銀行 公務部
- セキスイハイム工業株式会社関東事業所
- 稲田石材商工業協同組合
- イオンリテール株式会社イオン笠間店
- 日本たばこ産業株式会社友部工場
- 株式会社タカタ
- 板橋精機株式会社岩間工場
- 八幡砕石工業株式会社

- 株式会社さしろ
- 株式会社茨城県中央食肉公社
- 公益社団法人茨城県農林振興公社
- 日東電気株式会社
- 公益財団法人茨城県開発公社 いこいの村涸沼
- 水戸ヤクルト販売株式会社
- 三井住友海上火災保険株式会社
- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 茨城支店
- 水戸商工会議所
- 笠間市商工会
- 茨城町商工会
- 水戸市内原商工会

- 大涸沼漁業協同組合
 - 大洗町商工会
 - 公益社団法人茨城県畜産協会
 - 茨城旭村農業協同組合
 - 一般社団法人水戸観光コンベンション協会
 - 一般社団法人笠間観光協会
 - 茨城県生活協同組合連合会
 - 常陸農業協同組合
 - 笠間営農経済センター
 - 茨城県建設業協会
 - 一般社団法人大洗観光協会
- (※敬称略、順不同)

読者プレゼントクイズ

	3	2				1	4	
7	9		2		6		8	5
8	<input type="text"/>	4		5		7		9
	2		5		8		6	
		6		1		5		
9			6	3	4	<input type="text"/>		2
	1			6			3	
		8		2		6		<input type="text"/>
<input type="text"/>			1	8	3			

「ナンバーナイン」に挑戦

タテの各9列・ヨコの各9行・3マス×3マスの各9ブロックに1から9の数字が重複しないように入ります。4つの に入る数字の合計はいくつになるでしょうか。

正解者の中から抽選で10名の方に、図書カード(1,000円分)を、5名の方に、「オリジナルエコバック」を、プレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております。

【応募方法】

郵便はがきに、「クイズの答え・住所・氏名・電話番号・メッセージ」をご記入のうえ、下記のネットワーク事務局までお送りください。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※平成30年4月30日(月)の消印有効です。

★前回の解答…ネットワークだよりVol.36ナンバーナインの答えは「12」でした。

73通の応募があり、うち正解は67通でした。たくさんのご応募ありがとうございました。



読者の声

～みなさまから寄せられたメッセージをご紹介します～

★一首詠んでみました。

“我が郷土 世界に誇る自然あり 未来に託す クリーン涸沼”

★今年の夏、時々、涸沼イトトンボかな？とも細くて小さいトンボを我家の庭で見かけました。環境が整っているのしょうネ。来年も楽しみに待ってます。

★涸沼の夕暮れの景色が大好きです。これからも、よりよい環境となるように自分でも、日々の生活を見直していきたいと思えます。

★涸沼そのものの環境を守る取り組みも大事だと思いますが、涸沼に注ぐ川や周辺の水田、湿地の環境にも配慮したいと思います。涸沼から離れれば離れるほどどうしても意識が弱くなります。そこをどうするかが課題だと思います。

★河川を守ることは、私たちひとりひとりが注意し努力することが大切だと改めて考えさせられました。

たくさんのメッセージ
ありがとうございました!!



発行：クリーンアップひぬまネットワーク事務局

〒310-8555 水戸市笠原町978-6 (茨城県生活環境部環境対策課内) TEL 029-301-2968

